



様式第4号（第7条関係）

令和8年9月4日

東かがわ市議会議長
工藤 正和 様

東かがわ市議会議員
民生文教常任委員会
委員長 工藤 潔香

行政視察等報告書

1	日 時	令和8年8月6日（木）～令和8年8月7日（金）	
2	参加者	民生文教常任委員会 工藤潔香 小松千樹 淀紀清 工藤正和 宮脇美智子 大田稔子 渡邊堅次 大藪雅史	
3	研修目的等	内 容	研修場所
		部活動の地域展開について	8月6日 岐阜県美濃市 美濃市役所
		みんなの森 ぎふメディアコス モスについて	8月7日 岐阜県岐阜市 みんなの森 ぎふメディアコス モス
4	研修・調査内容	別紙のとおり	
5	研修成果	別紙のとおり	
6	費 用	300,288円	

※領収書(交通費・宿泊費の明細が分かるもの)、研修資料を添付してください。

別紙 1

岐阜県美濃市「部活動の地域展開について」

【内容】

美濃市における部活動の地域展開の大きな特徴は、国が部活動の地域展開の方針を打ち出す以前から、保護者や地域の指導者がボランティアで活動する、保護者クラブとしての取組実績が20年余りあり、地域全体で子どもたちを育てるという考え方が定着していたことである。

国が部活動改革を進めた時点で、美濃市にはすでに地域による部活動運営の基盤が存在しており、新しく地域展開を進めたものではなく、これまで地域で積み重ねてきた活動を制度とし、整理、充実させていったものである。

美濃市では、中学校部活動は廃止され、地域クラブへ完全移行されている。なお、現在の地域クラブ数は、11団体（11種目）である。

財政面では、市から各クラブへの補助（均等割り、傾斜配分で算出した額）による補助が行われている。

運営面では、各クラブの保護者会が会費を設定して徴収し、その中から指導者への謝礼等を支払う仕組みとなっている。また、指導者の人数も保護者会で決めている。

会計面についても、各クラブがそれぞれ管理しており、年度末に市教委が運営状況を確認するなど、市教委、保護者、指導者がそれぞれの役割を明確にすることにより、地域と行政が一体化した取組が行われている。

【研修成果】

美濃市においても、指導者の確保、保護者の負担軽減などが課題となっており、現在、学校の終了時間から平日クラブ活動時間までの空き時間が2時間ほどあることから、この時間をどのようにするかが一番の課題であるとのことだった。

本市においても行政、学校、地域、保護者がそれぞれの役割を明確にしながら、本市の実情に合った無理のない地域展開を進めていくことが重要であり、地域で子どもを育てる新たな仕組み作りが重要となると感じた。

別紙 2

岐阜県岐阜市「みんなの森 ぎふメディアコスモスについて」

【内容】

みんなの森 ぎふメディアコスモスは、市立中央図書館、市民活動交流センター、多文化交流プラザ、展示ギャラリー等からなる複合施設であり、単に本を借りる図書館にとどまらず、市民が集い、学び、活動し、交流する場として、年間約130万人越えの来館者がある、市内で最も人が集う公共施設である。

同施設は、「知の拠点」「絆の拠点」「文化の拠点」という役割を持ち、子どもから高齢者まで、誰もが自由に過ごせる場所として、多くの拠点づくりに重要な役割を果たしている。

子どもたちに小さいころから読書が好きになってもらえる試みとして、乳幼児の10か月健診の機会を活用し、図書館職員が直接保健センターへ出向き、保護者に対し、利用案内の働きかけを行い、3歳の誕生月までに図書館で利用カードを作ってくれた子どもに、絵本を1冊プレゼントする企画を行っており、約9割が利用カードを作り随時利用している。

館内には飲食等も可能なコーナーを併設しており、ペットボトル等のキャップがついているものについては、図書館内に持ち込みが可能とのことだった。

また、岐阜県産のヒノキを使用した大きな木製格子屋根や、自然の光を取り入れた特徴的なデザインも印象的だった。

【研修成果】

今回の視察研修で感じたことは、市民活動を活性化させるためには、人が集まる場所を作ることが重要で、本市の公民館、図書館においても人が気軽に集まり、出会い、学び、活動や発表ができる居場所づくりに取り組むことが必要である。